

地方独立行政法人福岡市立病院機構
令和6年度第4回理事会 議事録（要旨）

- 日 時：令和6年8月28日（水）16:00～16:50
- 場 所：WEB会議（事務局：こども病院2階 市民病院4階）
- 出席者：堀内理事長（議長）、楠原副理事長、瓜生理事、神坂理事、平田理事
近藤監事、柳澤監事
[欠席：石橋理事]

□ 議 事

【議案審議】

1 議案第11号 損害賠償請求に対する和解について

<概要>

地方独立行政法人福岡市立病院機構理事会規程第6条第3項第5号にかかる和解について事務局より説明を行い、原案どおり可決された。

【報告事項】

1 福岡市病院事業運営審議会について

<概要>

令和6年6月24日に開催された福岡市病院事業運営審議会について

- ・これまでの福岡市民病院のあり方検討内容
- ・運営・施設部会からの中間報告
- ・今後の審議の進め方

について、事務局より報告を行った。

<主な意見等>

- 第8次医療計画での5疾患6事業においても脳卒中は含まれているため、脳卒中のSCUの拡大は、とても良いのではないかと思う。増床することには賛成であるが、増床するに際してどこか別の医療機関と再編することとなるのか、市民病院だけで増床分も確保するのか。
- 増床については、福岡・糸島地区の急性期病床は充足しているため、市民病院単独での増床は無理だと思う。そのため、どこかの医療機関との再編を目指している。詳細については、現時点ではまだ未定である。将来的にどのような疾患や分野を拡充するかについても市民病院としては、まずは政策医療をしっかりと行ったうえで、かつ将来の需要、需給の予測をして必要な分野を考えることとなると思っている。感染症・災害・救急などはもちろんしないといけない。それをするためには、ある程度の病床数が必要であることを先ほど事務局から説明したが、それに加えて高齢化への対応や高度医療などもあるので私案であるが、整形外科、呼吸器内科、呼吸器外科など、整形外科も脊椎だけでなく四肢や交通外傷など、あるいは透析やバスキュラーセンターなど、血管外科についても非常にニーズが高いところもあるのでそういった点でいくつか強化する診療科もあろうかと考えている。
- 増床の手法としての再編・統合に関しては、国が示している公立病院経営強化ガイドラインに示されている通り地域医療構想の中でしっかりと役割分担や必要性を検証したうえでの再編・統合であれば促進させるとなっているため、これに沿う形で検討することになる。医療機能部会で今後、市民病院が担う役割についてある程度の医療機能、高度専門医療や救急医療、災害感染症や地域医療ということである程度ラインは示されているが、そこについても今後移転する場所や想定される規模、こういった形で再編するのかということに合わせて必要な医療機能を更にブラッシュアップする予定となっている。最終的には答申が取りまとめられた後に福岡市が新病院の基本構想を作っていくので、その中に詳しく医療機能について

も盛り込まれていくという流れになっている。再編に関して現時点では、どこどのような形でというのは未定の状態で、これから検討が行われる段階である。

- 福岡・糸島地区の急性期病床は充足しているため再編となると思うが、300床以上で、移転先の候補地として、東区、博多区など上がっていることについて賛成したい。
- 病床数なども大事で、また働いている方の通勤の利便性なども検討されると思うが、看護師など子どもが生まれた時の幼稚園など乳幼児を預かってくれる場所の設置についても検討していただけるように働きかけてほしい。
- 病院で働く人たちが満足して働ける環境も病院が新しくなるので、充実させていきたいと考えている。